

# 競 技 注 意 事 項

- 競 技 方 法 2014年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手は全員腰ナンバー(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
- 招 集 ○トラック競技は20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投は40分前を招集時刻とする。  
○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
○代理人は認めない。(複数種目出場者を除く。)  
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○招集所は補助競技場南側出入口側のテントとする。
- 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。(ウォームアップ場使用上の注意 参照)
- 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。
- 競 技 順 走路順・投跳順はプログラム掲載順とする。
- トラック競技 ○スタートの合図を、イングリッシュコマンドで行う  
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- スパイク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
- ハートの規格

A男子	110mJH	～高さ 99.1cm	13m72	～ 9m14	～ 14m02	10台
B男子	110mH	～高さ 91.4cm	13m72	～ 9m14	～ 14m02	10台
C男子	100mH	～高さ 84.0cm	13m00	～ 8m50	～ 10m50	10台
A女子	100mYH	～高さ 76.2cm	13m00	～ 8m50	～ 10m50	10台
B女子	100mH	～高さ 76.2cm	13m00	～ 8m00	～ 15m00	10台
C女子	100mH	～高さ 76.2cm	13m00	～ 8m00	～ 15m00	10台
- フィールド競技 走高跳以外のフィールド競技で出場者が8名を越える場合は、トップ8を決してさらに3回の試技を行う。記録会の部は3回の試技とする。  
円盤投・ジャバリックスローは、本競技場で行う。
- バーの上げ方

男子A走高跳	160	165	170	175	180	以後 3cm
女子A走高跳	140	145	150	155	160	以後 3cm

男子・女子Cの記録会の部は、当日高さを設定する。  
(当日変更する場合もある)
- 投擲物の重量

砲丸	A男子	5.000kg	C男子	2.721kg
	A女子	4.000kg	C女子	2.721kg
	B男子	4.000kg		
	B女子	2.721kg		
円盤	A B C男子	1.500kg		
	A B C女子	1.000kg		
- そ の 他
  - ・会場の整理、整頓に努めるとともに更衣室、ロッカー等に貴重品を置かない。
  - ・ゴミは必ず持ち帰ること。
  - ・審判員が少ないので選手は競技運営に協力すること。
  - ・競技する選手以外は競技場内立ち入ることができない。
  - ・応援幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。
  - ・テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
  - ・大型映像装置側のサイドスタンドは、映像装置前にテント・のぼり設置を禁止する。
  - ・ウォームアップ場には、設置してある用器具以外は持ち込まないこと。
  - ・メインスタンドでは、手すり際に立っての応援や集団での応援は禁止する。
  - ・中学生は、原則として競技場内で携帯電話を使用しないこと。
  - ・トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する8・9・10・11チャンネルの使用を禁止する。